

4月1日、横浜市にある総合病院で職員勉強会が開かれ、訪問薬樹瀬谷の管理栄養士が嚥下(えんげ)食の講義を行いました。

この勉強会は病院で1年ほど前から毎月開催されているもので、毎回当社管理栄養士がテーマを変えて講義を行っています。

高齢で嚥下機能が低下した方や脳卒中の後遺症による嚥下障害の方は、食事の際「食物の飲み込みが困難」だったり、「喉につかえる」、「むせる」などの症状で普通の食事を摂ることが非常に困難になります。そうした方のために食物の形態を変えて食べやすく、飲み込みやすく工夫したものを嚥下食といいます。

勉強会には、病院で働く看護師、薬剤師、管理栄養士、約10名が参加し、嚥下訓練食の特徴や商品について、当社管理栄養士が詳しく説明しました。参加者には、「病院で利用している商品の他にも活用できそうな商品があった」と大変喜んでいただきました。

この講座は毎月開催されていますが、毎回のテーマ考案や講義の進め方、内容など、当社管理栄養士は工夫を凝らし、有意義な勉強会にしたいと考えており、病院スタッフの皆さまからも大変好評を頂いております。

今後とも、当社管理栄養士の幅広い活動に、どうぞご期待ください。

